

平成 26 年 7 月 13 日
中部地方整備局

TEC-FORCE 隊による南木曾町梨子沢等土石流調査結果

・国土交通省では、昨日 7 月 12 日に TEC-FORCE 隊により、二次災害の発生が懸念されている梨子沢、大沢田沢、蛇抜沢について、地上調査を実施しました。

・その結果、溪流内に大規模な不安定土塊、土砂・流木の堆積、天然ダムは認められませんが、一部の河床に不安定な堆積土砂、側岸に侵食され残った土砂の存在が認められます。

・上記の結果は、7 月 11 日に実施された国土技術政策総合研究所の専門家のへり調査による見解と一致するものです。

・大規模な土石流が発生した梨子沢では、

- 1) 砂防堰堤が満砂しており、さらに、不安定な堆積土砂、側岸に侵食され残った土砂が他の溪流に比べ多く存在すること
- 2) 溪流の施設（砂防堰堤・流路工等）の一部に損傷が見られること

から二次災害防止のため、当面の間、住民の安全確保のため、通常より少ない降雨基準等により特別な警戒避難体制の整備が必要であると考えられます。

以上



大梨子沢上流の山腹崩壊



小梨子沢で見つかった10mを超える巨石



梨子沢第1砂防堰堤（国交省）【小梨子沢】



梨子沢第2砂防堰堤（国交省）【大梨子沢】



CCTVが設置されていた落差工（長野県）



流路工（長野県）